

2010 年 5 月 20 日(木)
ショートショート実行委員会／ショートショート アジア実行委員会
スカパーJSAT株式会社
ルーセント・ピクチャーズエンタテインメント株式会社
株式会社キュー・テック

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2010
国内初！世界の 3D ショートフィルム上映プログラムを新設
Björk (ビョーク) のミュージックビデオをはじめとした最新ショートフィルムを上映！！
映画『呪怨』の清水崇監督が 3D コンテンツ制作秘話を語るトークショー開催
スカパー！では、コンテンツの一部を 3D 放送！

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(以下、SSFF & ASIA)2010」(開催期間:6 月 10 日～13 日、16 日～20 日 開催会場:表参道ヒルズ スペースオーほか)は、スタートから 12 回目を迎える今年、国内初となる 3D ショートフィルムプログラムを新設します。

3D ショートフィルムプログラムは、3D コンテンツの認知度向上、3D コンテンツの充実化などを目的としております。映画祭期間中の 6 月 11 日(金)、12 日(土)の 2 日間にわたり Björk (ビョーク)のミュージックビデオをはじめ、海外 15 作品、国内 8 作品(予定)が TOHO シネマズ六本木ヒルズでオールナイト上映されます。

今回の 3D プログラムには、3D コンテンツの企画・制作・プロデュースを行うルーセント・ピクチャーズエンタテインメント株式会社(東京都渋谷区、代表取締役:鎌形英一)および、6 月に開幕する「2010 FIFA ワールドカップ」日本×オランダ戦(6 月 19 日)の生中継を皮切りに 3D 放送をスタートするスカパーJSAT 株式会社(東京都港区赤坂、代表取締役執行役員社長:秋山政徳)が協賛、株式会社キュー・テック(東京都港区赤坂、代表取締役:堀徹)が特別協賛しており、次のような企画を予定しています。

ルーセント・ピクチャーズエンタテインメントが築いた海外プロダクションスタジオやクリエイターとのネットワークを活かし、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、ノルウェー、韓国、日本の初公開作品を含む 3D ショートコンテンツを公開します。
『呪怨』の清水崇監督や、上映作品の一つ『夏の夜の出来事』監督の尾小山良哉氏を迎え、3D 作品の制作秘話や楽しみ方を語るイベントも実施します。

さらにプログラム終了後は、一部のコンテンツを「スカパー！」で放送します。アジア最大の有料多チャンネル放送「スカパー！」は、映画館だけでなく、テレビを通じて楽しむ新たなエンタテインメントとして 3D のコンテンツを視聴者に届けます。(放送作品は後日決定します)なお、今回の映画祭では、各国から集まった様々な 3D コンテンツフォーマットに対応するため、数多くの劇場作品で実績のあるキュー・テックがポストプロダクション処理、DCP作成を担当しています。

また、SSFF & ASIA は 2011 年に向けて 3D プログラムを部門化し、クリエイターからの作品を公募するコンペティションの展開を目指します。放送機器、撮影機器の発売、放送スタートと 3D 産業への注目度が益々高まる中、ルーセント・ピクチャーズエンタテインメントとスカパーJSATは、映画祭をサポートしながら、3D コンテンツクリエイター支援と新しい才能の発掘を行い、視聴者と共に 3D の未来像をつくりあげていきます。

【3D プログラム 上映作品 ※一部抜粋】 海外 15 作品、国内 8 作品(予定) 上映作品はウェブサイトにて紹介いたします。



『仙術超攻殻オリオン』 監督:青木康浩 日本 2010 年 アニメーション
世界がその才能に惚れ込む、土郎正宗原作アニメーション。SIGGRAPH2010(7 月
25 日～29 日 LA 開催)向け出品作品の先行上映が決定。

(C)2010 Lucent Pictures Entertainment, Inc.

Original manga copyright:(C)Shirow Masamune/SEISHINSHA



『Wanderlust』 監督：Isaiah Saxon／Sean Hellfritsch USA 2008年 ミュージックビデオ
オ
ミュージックビデオの中でも先駆ける3D製作といわれるBjörk(ビョーク)の作品。60名のクルー、撮影に9ヶ月間という力作。



『Whatever Happened to Ro-Man?』 監督：Ray Zone アメリカ 2009年 コメディ
伝説的カルトムービー『ロボット・モンスター』のその後を描いた作品。



『夏の夜の出来事』 監督：尾小山良哉 日本 2009年 アニメーション
お化けのトコリと少年の物語。少年の成長を描く。

【3D プログラム イベントゲスト】

- ①清水崇監督が3D制作秘話を語るトークイベント
- ②上映作品『夏の夜の出来事』の監督 尾小山良哉氏を迎えて、3Dプロダクションの現状を聞くトークイベント

■清水崇(しみず たかし)監督

2002年劇場版『呪怨』を脚本・監督。『呪怨』は単館系の低予算映画としては記録的ヒットとなり、全国各地また世界20カ国で拡大上映される。また、2004年アメリカ版の『呪怨』～『THE JUON／呪怨』(原題:“The Grudge”)も監督。本国アメリカでは興行収入1億ドルを突破するメガヒットとなり、2週連続の全米No.1(日本人監督としては史上初)を果たした。2004年には『稀人』でベルギーのブリュッセル・ファンタスティック映画祭グランプリ(金のカラス賞)を獲得。現在、『戦慄迷宮2』及びハリウッド製作・日本のコミック原作による『寄生獣』などを準備中。日本国内のみならず、アメリカ・ハリウッドで活躍を続けている。

■尾小山良哉(おこやま よしや)監督

1973年石川県生まれ。2009年宮城・仙台アニメーショングランプリにおいて、企画演出した『夏の夜の出来事』がグランプリを受賞。ディレクション含めVFXを駆使した独創的な表現で活躍、現在に至る。

【3D プログラム 上映日時・場所、チケット情報】

■会 場：TOHO シネマズ六本木ヒルズ (東京都港区六本木 6-10-2 けやき坂コンプレックス)

■日 時：2010年6月11日(金)&12日(土)の2日間 各日程 25:00～26:50

※同時時間帯および27:10～29:00については映画祭プログラム(2D)を別スクリーンで上映。

■チケット前売販売日：5月22日(土)

3D 特別プログラムチケット 前売／当日：1800円

※別スクリーンでの1プログラムチケット 前売／当日：1500円

■チケット販売場所

・TOHO シネマズ六本木ヒルズ劇場窓口

・TOHO シネマズ六本木ヒルズWEB：<http://www.tohotheater.jp/>

▼スカパーJSAT株式会社 <http://www.sptvjsat.com/>

アジア最大の有料多チャンネル放送・衛星通信事業者。

2008 年 10 月に誕生以来、日本最大の有料多チャンネル事業と、世界第 5 位の売上高を誇るアジア最大の衛星事業を両輪に事業を展開している。

所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-14

代表取締役 執行役員社長: 秋山政徳

▼ルーセント・ピクチャーズエンタテインメント株式会社 <http://www.lpei.co.jp/>

2007 年にアニメーションを中心とした映像プロデュース企業として設立。アニメーションを軸に、映画及びテレビ番組の製作、配給、DVD などのパッケージメディアの発売、海外番組販売、キャラクターライセンス事業を行う。ハイクオリティな日本製アニメーションに最新の技術を積極的に融合し、良質なコンテンツの提供を行う。

所在地: 〒150-0044 東京都渋谷区円山町 19-1,11F

代表取締役: 鎌形英一

▼株式会社キュー・テック <http://www.qtec.ne.jp/>

1989 年設立。「品質」「技術」「信頼」をポリシーとする総合ポストプロダクション。映像・音声の編集技術を核として、番組やパッケージ向け作品の企画制作、DVD/Blu-ray Disc のエンコード/オーサリングとカスタムディスクプレス、フィルム作品のデジタルリマスターリングと劇場上映用作品の製作(デジタル・インターミディエイト)、VOD(Video On Demand)に対応したネット配信用データ変換(圧縮)サービス、そして、3DCG を含む CG 製作とデジタルアニメーションの撮影など様々な分野に展開。立体映像にはいち早く注目し 2008 年 10 月より編集スタジオにおいてアジア圏初、3D システム「REAL-D」を導入。数多くの劇場作品を手がける。

所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂 6-14-15

代表取締役: 堀 徹

▼ショートショート フィルムフェスティバル & アジア について <http://www.shortshorts.org/2010/>

米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。

1999 年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、有名監督の初期短編映画や若手映像作家が産み出した作品など、これまで 1000 本以上にも及ぶ作品を世界約 60 の国や地域から日本に紹介している。2004 年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となる。また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げている。年々規模が大きくなる本映画祭は、現在ではアジア最大級、日本で唯一の米国アカデミー賞公認短編映画祭として、明日の映像文化を担う若手映像作家、監督たちの世界へつなげるゲートウェイの創出を目指す。